

会 報

第8期第11回常任理事会議事録

日 時：2022年2月5日（土）17：00～19：30

方 法：Zoom ミーティング

出席者：安保英勇, 石村郁夫, 遠藤公久, 長田久雄,
中込さと子, 羽鳥健司

陪席者：大場良子（研修委員）, 小泉隆平（第23回
大会準備委員長）, 山内朋子（事務局次長）

議 長：遠藤公久

書 記：石村郁夫, 山内朋子

議事

1. 議事録確認（石村事務局長・山内事務局次長）

資料1～資料3（第8回常任理事会, 第9回常任理事会, 第10回臨時常任理事会メール開催）, 資料4～資料5（第3回理事会, 第4回臨時理事会メール開催）, 資料6（第23回総会）の議事録案が確認され, 資料1, 資料5, 資料6の一部を修正することとなった。他は原案通りに承認された。

2. 審議事項

1) 会員異動について（遠藤会長・石村事務局長）

資料7に基づいて2021年8月1日～2022年2月までの会員の異動について説明がなされ, 新規会員2名, 退会者4名, 除籍4名が承認された。現時点での会員数は233名であり, 会員情報の変更者が7名であったことが報告された。名誉会員に関する内規を今後検討することが提案され, 承認された。新規会員の増加として, オンライン研修会等を検討していくことが提案され, 検討していくことが確認された。

2) 学術集会第22回大会の決算状況について（中込理事・山内事務局次長）

資料8に基づいて第22回大会の2020年度収支決算と2021年度収支決算, 次大会への備品引き続き内容について報告された。2020年度収入は大会支援金, 支出は主に対面開催予定であった段階での広報費であり, 収支合計221,450円であった。2021年度収入は前年度繰越金と追加支援金, 企業協賛金・寄付金・大会参加費, 支出はWeb開催に係る会議費・印刷広報費・謝金等であり, 収支合計302,166円であった。302,166円のうち, 学会への振り込み手数料を除く残額を学会へ寄付して下さる意向であることが報告された。審議の結果, 原案通りに承認された。2021年度支出内訳のうち, 備品2点の今後の取り扱いについても審議され, 大会長へ所属機関への寄付手続きを依頼することで承認された。

3) 大会援助金に関する規定について（中込理事）

大会支援金に関する内規の策定等について審議した結果, 予算内訳や用途に関しては大会準備委員会で検討され, 学術委員会へ報告がなされて審議を行いながら進めていくことで承認された。

4) 学術集会第23回大会について（中込理事・小泉理事）

大会準備委員9名で第23回大会の準備を進めていることが報告された。基調講演は「ヒューマン・ケアと心理過程」をテーマとして池見陽先生（関西大学大学院教授）より講演予定であることが報告され, 基調講演の座長は準備委員会に一任することで承認された。シンポジウムも企画立案済みであること, ラウンドテーブルの開催はなしとすること, ワークショップと自主企画の応募は受け付ける予定であることが報告された。

2022年2月中に広報を開始し、発表の申込期限を2月15日(火)～5月8日(日)、抄録原稿提出締切期日を5月13日(金)、オンライン発表データ入稿締切期日を6月10日(金)とする予定であることが報告された。参加者の権限として会員は基調講演・シンポジウム・発表に参加可能、非会員(院生含む)は基調講演・シンポジウムに参加可能、非会員が共同研究者として会員とともに発表する場合ないし発表を閲覧する場合には追加参加費を求め、学生(学部生)は基調講演・シンポジウムに参加可能で発表の閲覧も可能とすることが提案された。参加者の権限は提案通りに承認され、参加費の設定金額は大会側で検討していただくこととなった。

大会用の Twitter を新規作成して広報活動を行いたいこと、公開内容は準備委員で検討することが提案され、内容を学術委員会等に確認をした上で広報することで承認された。チラシ(ポスター)や一号通信は学会ホームページやメーリングリストも活用しながら広報し、ニュースレターとともに発送することが確認された。

5) 学術集会第24回大会について(中込理事)

第24回大会の大会長候補が辞退されたこと、および候補者擁立が難航していることが報告された。大会主催を常任理事会とし(大会本部)、第8期常任理事会で準備・主催を担う案が提案された。提案内容を含めて、引き続き学術委員会で検討することとなった。

6) ニュースレター No.23制作費について(羽鳥理事)

資料9(300部発行の見積書案)に基づき、学会論文賞等があるため前号プラス3頁構成であることが報告された。作成依頼中の250

部発行の見積書案について後日改めて常任理事会メール審議を行うこととなった。2月～3月にかけて他の学会送付物と一緒に発送予定であることが確認された。

7) 2022年度常任理事会年間計画(遠藤会長・石村事務局長)

資料10～資料13に基づいて年間計画について検討され、原案通りに承認された。2023年度事業計画である役員選挙については、選挙管理委員長に羽鳥理事、委員に石村理事と大場理事が推挙されて承認された。学会論文賞審査に関しては、2022年度に第8期理事から選考委員会を組織し、2023年3月頃に対象論文を選定すること、学会論文賞審査は2023年4月頃から第9期理事が投票を行うことが確認された。

3. 報告事項

1) 研修委員会(長田理事・大場理事)

2022年度研修会は第23回大会開催中の7月9日(土)13:30～15:00に「フォーカシング - ころの声に耳を傾ける -」をテーマとして、内田利広先生(龍谷大学)と星加博之(関西大学大学院)を講師とし、Zoomでの同時双方向で開催し、ワークを行う予定であることが報告され、了承された。参加は事前登録制で40名(先着順、学生参加はなし)、参加費3,000円とし、広報時期や申込期限は第23回大会と同時期を予定していることが報告され、了承された。予算案やZoom開催の詳細方法を引き続き検討することが確認された。

4) 編集委員会(安保理事)

資料14の投稿論文リストに基づき、論文審査状況および次号に論文3本が掲載であることが報告され、了承された。

第8期第12回臨時常任理事会(メール会議)

議事録

期 日：2022年3月16日(水)～3月23日(水)

方 法：メール開催

出席者：安保英勇常任理事，石村郁夫常任理事，
遠藤公久会長，長田久雄常任理事，中込
さと子常任理事，羽鳥健司常任理事

書 記：石村郁夫第8期事務局長，山内朋子第8期
事務局次長

議事

1. 議事録の確認(石村事務局長，山内事務局次長)
第8期第11回常任理事会議事録案は，原案のと
おりに承認された。

2. 審議事項

1) 会員異動について

資料1に基づいて2022年2月4日～2022年
3月までの会員の異動について説明がなされ，
新規会員3名，退会者4名(資料1に3月16日
付で1名追加)が承認された。現時点での会
員数は232名であり，会員情報の変更者が2
名であったことが報告された。

2) 名誉会員規定(内規)について

第11回常任理事会にて，名誉会員に関する
内規を今後検討することが提案され，承認さ
れたことを受け，本学会の名誉会員規定(内
規)を新規作成し，内容の検討を行った。文
言等は引継ぎ検討し，理事会でも意見を求め
ることとなった。